

平成29年度 第3回 大阪府立かわち野高等学校 学校協議会 議事録

日 時：平成30年2月16日（金）15時30分～16時50分

場 所：アクティブラーニング室

1. 参加者

委員 5名 事務局 12名

2. 報 告

- ・学校説明会実施状況
- ・平成29年度学校教育自己診断について

3. 協 議

<校則の見直し>

- 昨年度見直しを行ったため、今年度については見直しの必要はなかった。
- ・今後も必要に応じて見直しをしていくように。

<学校経営計画の取組みの自己評価を踏まえた学校関係者評価に関する事項及び次年度の学校経営計画策定に向けての意見>

- ・「授業が分かりやすい」に対する肯定的な回答の減少の原因は何であるのか。
→これまでの受け身型の授業から、生徒主体の授業に変化している段階によく見られる現象である。今後改善していくと考えられる。
- ・「充実した進路指導が行われている」に対する肯定 生徒58%と教職員78%の差をどう考えるか。
→現時点では分からない。情報を集めて分析する必要がある。
- ・命の大切さや社会のルールについて学ぶためにどのような取り組みをしたのか。
→LGBTの講演会を行った。内容がとても分かりやすいものであった。
- ・生徒は指導に対してどこに不満を持っているのか。
→“学校生活に必要な無いもの（例えばカラーコンタクト、ピアスなど）は持ち込んではいけない”ということに対する不満。
- ・保護者アンケートの回答率はどれくらいか。
→317名（約45%）
保護者にこのアンケートの存在を知ってもらえる機会を設けていくべきである。
- ・保護者が学校の活動を見る機会はあるか。
→文化祭・体育祭、懇談、授業参観
- ・自転車通学のルールはあるのか。

→学校指定のステッカーを貼っていれば自転車通学を認めている。

- ・自主性を養うために何をしているのか。

→常に“なぜ”なのか考えさせる。教員が答えを言うのではなくて、自分で考え、自分の言葉で発信させるようにしている。

【委員からの意見・提言】

- ・アンケートの数値が急激に変化しているものに関しては、その原因を探るべきである。それにより2、3年後に学校全体として成果が出る。
- ・社会のルールを学ぶためにインターンシップを積極的に取り入れていくべきである。
- ・学校と保護者がよりつながりを持ちながら子どもと関わっていくべきである。また、中学校や地域から中身の分かる学校になるようにしてほしい。
- ・今年のまとめを来年度につなげていく。